

銀漢亭日録



伊藤伊那男

4月18日(火) ▼東京駒ヶ根会会長・熊沢正幸さんと伊那北先輩。熊沢さんは骨董業界重鎮。藤森莊吉さんの「閨句会」十人。坊城俊樹さんも参加。対馬康子さん、公認会計士の藤井さん、青柳フエイさん明後日米国へ帰ると。
19日(水) ▼漫画家のクミタリユウさんと洋酔さん。「銀化」の原和人さん、上京したとて寄って下さる。
20日(木) ▼RM(ランニングマシーン) 五km。「銀漢句会」あと十五人。「俳句」六月号特集「今、この時を詠む！」。瞬間、の切り取り方」へ十句と解説。
22日(土) ▼東京駅より特急「わかしお」にて安房鴨川。海女に扮装した麦、羽久衣の迎えを受ける。鴨川グランドホテルで荷を解き、仁右衛門島へ。一行四十三人。周遊のあと、ホテルに戻り、四句出句。鈴木真砂女ミュージアム見学。十八時より親睦会。あと私の部屋にて酒盛り。最後に一句出し句会。二十三時に行開き。
23日(日) ▼六時起床。二日酔い。茶を飲んだり、浴場に行ったりぐずぐずする。朝食後、八時半、バスにて鯛の浦、誕生寺、清澄寺を廻る。快晴。ホテルに戻り、十三時より句会。「わかしお」にて帰京。有楽町の居酒屋で打ち上げ。結局、バス組合流し十数名。「わかしお」からの飲み続けで……へろへろ。
24日(月) ▼「演劇人句会」六人。ミモザさん久々。
25日(火) ▼岩野齒科。欠けた奥歯の型取り。W女史より京西山の筍到来。店、久々、国会議員のT先生。半田けい子さん。鳥閑さん、エッセイ集にサインをと、来て下さる。閑散にて二十一時半閉める。
26日(水) ▼「雛句会」十二人。あとは閑散。井蛙、展枝さんと餃子屋。藤岡筑邨氏の「りんどう」六百号記念号へ二句贈る。〈藤房の

い。二十二時過ぎ帰宅。
4日(木) ▼「銀漢」六月号の原稿まだ書き続けている。十四時半、高木氏とORIX時代の上司、黒岩芳昭氏の墓参。あと蕎麦店「庵」にて酒盛り。十七時半、戻り、吉田家とバーベキューパーティー。筍煮、筍焼などを供す。
5日(金) ▼伊豆網代の唐沢静男君夫妻の家を訪問。金井硯児さんも参加。昼から十九時くらいまで飲む。刺身、干物、山菜などのもてなしを受ける。小綬鶏の声がしきり。帰宅すると成城仲間三家族来ていて、酒盛りに加わる。
6日(土) ▼六月号の原稿書き。二本書いてようやく完了。一週間遅れ。担当の方すみません。
7日(日) ▼午後、「春耕同人句会」。あと「炙谷」にて親睦会。
8日(月) ▼発行所、「北辰社」の決算報告会。店、国会議員のT先生。「銀漢亭こぼれ噺」そして京都『面白くて二回読んだと。池田のりをさん、同エッセイの感想文を「丘の会」に書いて戴くことに。閑散。
9日(火) ▼鳥居真里子さん句会に発行所貸し出しのため早めに店。(株)展望社代表取締役の唐澤明義さんという方が来店。伊那北高校先輩で出版社社長。私のエッセイを読んで訪ねて下さった。「火の会」。六人しかいないと、うさぎさんが嘆いていたところ「街」の今井聖主宰、竹内宗一郎編集長など五人来店。句会に参加して下さり賑やかに。「宙句会」あと十一人。
10日(水) ▼「梶の葉句会」選句へ。店「ささらぎ句会」あと七人。
11日(木) ▼池田のりをさん慶大歌舞伎研究会出身の小泉芝雲さん他と。大住光汪君、半年振りに。大野田井蛙さんと小中高と同期。「極句会」洋酔さんゲスト。あと七人店へ。大塚凱君友人の女子医大の学生。大王製紙田中役員が若手社員と十人。
12日(金) ▼京都の笹下さん(天為)。私のエッセイを読んだという大日本印刷のOBの慶大出身の方三名、寄って下さる。「大倉句

先の奮もふくやかに」〈此の辺り旧筑摩県藤句会〉
27日(木) ▼大塚凱君手伝いの日。坪井さん、句会日を間違えて来る。国会議員のT先生、私のエッセイ集を早く読みたいと来店して下さる。ポール・マッカートニーの東京ドーム公演のあとの太田うさぎ、天野小石、笹木くろえ、竹内宗一郎、近江文江さん来店。酔馬さん京都出張のあと、塩大福の土産を持って。
28日(金) ▼今日、「門」同人会に発行所貸し出し。忘れており、大慌てで開錠に。十四時、下北沢に戻り、大山かげもと氏の『草紅葉』出版記念会へ。下北沢「湘南倶楽部」。〈人の世に至福の色の草紅葉 伊那男〉の短冊を贈呈。店「金星句会」六人。
29日(土) ▼連続テレビ小説「ひよっこ」を見て毎回泣く。今日の「雛句会」は発行所。あと「揚子江飯店」にて親睦会。あと一人「大金星」にて小酌。
30日(日) ▼九時半、小田急線渋谷駅。「早蕨句会吟行会」にお招きいただく。バスにて大倉。快晴。神奈川県立秦野戸川公園を散策し、バス組と徒歩組に分かれ、徒歩組は水無川沿いに六kmほど歩き渋谷へ。秦野市立西公民館にて二句出し句会。十八人。あと駅前「目利きの銀次」にて親睦会。あと「いろは」で二次会。帰宅して無人店舗で買った蕨の灰汁抜きなど。
5月1日(月) ▼店、「かさ、ぎ勉強会」十人程。
2日(火) ▼朝、岩野齒科。欠けた奥歯に金を埋める。伊那男の価値が五万円程上がる。
3日(水) ▼十一時、鎌倉駅。「天為」天野小石さんの実家で吟行句会。洋酔、山田真砂年、いづみ、展枝。竹内宗一郎、福岡るび、天為の面々。小石さんの兄の甲子三郎さんの十人。白子井の昼食。八幡様の牡丹園。雪の下の日田屋で酒を買う。こは私の大学茶道会の仲間岡本行君の実家。泊まったこともあり、懐かしく！ 兄上がいて、この方も大学先輩。小石家で五句出し句会。筍掘り。日影茶屋の懐石弁当取り寄せ。夕方、護良親王の首塚へ。鎌倉の黄昏は怖

会」あと十五人。
13日(土) ▼十時過ぎ、運営委員会。十三時、「銀漢本部句会」五十人。本日、神田祭ながら生憎の雨。句会あと「テング酒場」。
14日(日) ▼十時半、成城学園駅前の成城風月堂に原田さびがみさんに来ていただき、句集出版について打ち合わせ。二時間ほど。午後は雑用しながら寝たり、テレビ見たりと休養。久々酒抜く。
15日(月) ▼原田さん句集の序文、「一氣に書く。発行所は六月号校正。今月は全部点検できぬまま渡す。店「銀化」の方々四人。広渡敬雄さん九州大学仲間五人。「演劇人句会」八人。昔来ていた客(氾星さん)が三省堂に私のエッセイが平積みであった！ と寄ってくれる。盛況のまま二十三時閉める。早めに帰宅できると思いきや、うっかり準備に乗ってしまい、新百合ヶ丘まで連れて行かれる……トホホ。
16日(火) ▼眼科訪問。劇的に治っていると。多田悦子さんに原田さんの序文打ち込んでいただき、字の用い方その他やりとり。宗一郎、村上軞彦、今泉礼奈、とうと、凱、小石、いづみ……最後、演歌の合唱。カラオケ店ではない！
17日(水) ▼「閨句会」十人。「三水会」五人。法政大学高柳先生と飯田高校の方。信濃毎日新聞の記者さん。繁忙。
18日(木) ▼妻の京女時代の友人三人、上京したとて、仏前の菓子持つて店を訪ねてくれる。「銀漢句会」あと十六人。
19日(金) ▼久々時間できてRM五km。発行所「葛句会」選句。句会あと店に七人。今日から福原紅さんも参加。十九時、日本伝統俳句協会東京支部長、井上泰至さんから阪西敦子さんへバトンタッチの会、十三人。
22日(月) ▼予約なし。国会議員T先生。展望社唐澤明義氏。
23日(火) ▼「萩句会」選句へ。店、予約なし。二十一時半、閉める。そこへ金井硯児さん来店したので「ふくの鳥」で一時間ほど飲む。